

# 学びを生かし、よりよい社会を構築するための実践力の育成 ～内容を貫く題材として、“建物”を活用する学習活動を通して～

## ○研究のねらい

よりよい社会を構築するための実践力を育むためには、自分ごと化しやすい題材の設定が必要であると考え、今回の研究では、“建物”を「A材料と加工の技術」を貫く題材とした。地域の“建物”を題材にすることにより、「学校・家庭・地域」をつなげることが可能となる。また、各学校と地域の現状に合わせて学習展開を変えることができ、どの地域の学校でも「学校・家庭・地域」で学びを繰り返すことができる。

## 目指す生徒像

地域の建物から課題を見つけ、技術の見方・考え方を働かせ、他者と協働し粘り強く課題を解決し、よりよい生活や社会を築こうとする生徒

## ○研究の内容

### 1 “材料選択ベンチの模型を使って最適なベンチを考えよう”の実践



#### 〈学校・家庭・地域のつながり（空間軸の視点）〉

・生徒の感想より  
使用条件や使用目的に合わせて材料を組み合わせることで、選択するときに、費用や耐久面、加工のしやすさなど、様々な面から考えることが大切だとわかりました。  
良いと思った材料の組み合わせでも、見方を変えると別の組み合わせのほうがよくなることもあるのだと気づきました。

### 2 “雪の重さに耐えられるカーポートをつくろう”の実践



#### 〈学校・家庭・地域のつながり（空間軸の視点）〉

・生徒の感想より  
波型が丈夫である理由がよく理解できた。形を工夫することで強度を高めているものが、実は身の回りにもたくさんあることがわかった。普段何気なく見ているカーポートの材料や形には意味があることがわかった。これからは、もっと注意深く観察してみたいと思う。

### 3 “歴史的な建物の扉から学ぼう”の実践



#### 〈過去・現在・未来とのつながり（時間軸の視点）〉

・生徒の感想より  
昔使われていた扉から、使用された材料と加工方法について読み取ることができた。昔の人は、限られた材料と加工方法で、より良い扉を作っていたということが分かった。自分の家の扉と比べてみて、時代が変わると、材料と加工法が変わることがわかった。

### 4 “古民家をリノベーションした建物から学ぼう”の実践



#### 〈学校・家庭・地域のつながり（空間軸の視点）〉

#### 〈過去・現在・未来とのつながり（時間軸の視点）〉

・生徒の感想より  
昔から使われている技術と今の新しい技術を組み合わせることで、より良いものができることが分かった。木材を上手に組むことで丈夫になり、加工方法次第でいつまでも使えることが分かった。これから自分の家を建てる時に、今回学習したことを思い出したいと思った。

主体的・協働的な探究活動を取り入れた学びのプロセス

## ○研究のまとめ

### 成果

- 地域の建物の過去と現在を比較しながら問題を検討し、見つけた課題を自分ごとに置き換えて考えていくことができるようになった。
- 「学びのプロセス」に沿った学習活動を展開することによって、繰り返し技術の見方・考え方を働かせることにつながり、よりよい社会を構築するための実践力を育むための土台をつくることができた。

### 課題

- 学びを製作実習にどのように生かしていくかが今後の課題となる。学びを生かせる課題設定を行い、スムーズに実習へ取り組める環境を整える必要がある。
- 限られた授業時数や教員数の中で、フィールドワークなどを取り入れた探究学習を行う時間の確保が難しい。